

学習規律の確立

課題

- 学習用具を事前に準備する習慣がないため、授業の開始が遅れる状況が見られます。
- 学習規律は掲示されているものの、指導が徹底されていない状況が見られます。
- 発表の仕方やノート指導について、それぞれの先生が違った方法で行っており、その都度指導するため、十分身に付かない状況が見られます。

ポイント

- 学習規律を徹底させることは、授業を効率的に進めるために必要です。
 - ・学校全体での共通理解の下、全教職員で設定し取り組みます。
 - ・気持ちよく学習を進めるための手段であるなど、学習規律の役割を子どもに理解させます。

具体の取組

学校全体で学習規律を徹底するためには、例えば次のように取り組みます。

- ① 学習の準備、挨拶、姿勢、発表の仕方や話の聞き方、話合いの仕方などの学習規律について、自校の子どもの状況を全教職員で確認します。
- ② 現在、各学級でどのように指導しているかを交流し、効果的な指導方法を共有します。
- ③ 学校として必要な学習規律を全教職員で決めます。
- ④ 子どもへの示し方や徹底させるための指導方法を確認します。
- ⑤ 徹底するまで、学校全体で繰り返し指導します。

<徹底させるための指導例>

項 目	子どもに示す学習のきまり	徹底させるための指導例
学習の準備	・教科書、ノート、筆記用具など必要な用具を机の上に重ねて置く。	・次の授業に必要な用具を用意してから休み時間とする。 →できていることを確認する。
挨拶	・授業の始めと終わりの挨拶をきちんと行う。	・起立し椅子をしまう、姿勢を正すなどを繰り返し指導する。 →「きちんと」の状態を具体的に示す。
学習中の机 上	・教科書は左、ノートは右に置く。	・きちんとできている状態を掲示する。 →常に意識させる。
話し方・聞き方	□ 話し方 ・聞いている人を見て話す。 ・丁寧な言葉「～です」「～ます」で、最後まできちんと話す。 □ 聞き方 ・話している人を見て聞く。 ・うなずいたり、あいづちを打ったりしながら聞く。	国語科の「話すこと・聞くこと」の学習を生かす。 →発達の段階に応じて内容をレベルアップする。

学習規律を確立させるためには、まず、教師が自ら時間を守る、身の回りの整理整頓をするなど、模範を示すことが大切です。

学習規律の確立により、例えば、授業開始後に学習用具の準備にかけていた時間がなくなり、終末での定着のための時間が十分確保できます。

